※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　生物（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「生殖」、「発生」、「遺伝子のはたらき」という３つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、学び考え続けてください。

２　学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則に理解を深め、科学的な自然観を育成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生物や生物現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするともに、科学的態度を身につけている。	生物や生物現象のなかに問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察や実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	レポートの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況	レポートの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況	レポートの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録	レポートの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	生殖と発生	発生のしくみ 植物の生殖と発生	○	 ○	○ ○	○	a:発生のしくみに関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:植物の生殖細胞の形成と受精及び胚発生の過程について考察し、導き出した考えを表現している。 c:生殖と発生に関する探究活動を行い、生物額的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:発生のしくみ・形成体と誘導について理解し、知識を身につけている。	レポートの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録
後期	遺伝子のはたらき	メンデルの遺伝の法則 性と遺伝 遺伝子の本体	 ○	○ 	 ○	 ○ 	a:遺伝子とＤＮＡ・いろいろな遺伝子に関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:有性生殖で生じる多様性を考察し、導き出した考えを表現している。 c:遺伝子のはたらきに関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:性の決定・伴性遺伝のしくみについて理解し、知識を身につけている。	レポートの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:　観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。